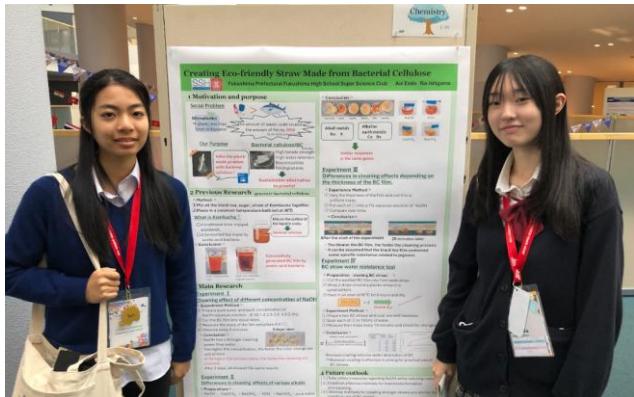


SSH 通信では、SSH に関する情報を随時お知らせします。

### JSSF(Japan Super Science Fair)

11月1日(土)～5日(水)立命館高校が主催する国際高校生科学シンポジウムに参加しました。本校からは2年生の遠藤蒼依さん、1年生の石亀りあさんが参加し、海外の生徒も含め多くの高校生と交流できました。研究発表では今までの練習の成果を発揮することができました。また、共同活動を通して、世界中の友達と一緒に考え、ものづくりをすることで、大きく成長できた研修となりました。



### 生徒理科研究発表会県大会

期日：11月15日(土)、16日(日)

会場：会津大学

口頭発表部門に13件、ポスター部門に19件の研究班が参加しました。最優秀賞の生物班は来年の全国高等学校総合文化祭（秋田大会）に出場します。  
最優秀賞「福島盆地における蝶類群集の構造」  
優秀賞 「ポルサイトの合成と物性評価～最終処分材料としての利用に向けたアプローチ～」  
優良賞 「信夫山の地質」



### 科学の甲子園

11月9日(日)に福島県教育センターにおいて、科学の甲子園福島県大会が行われました。

県内より、7校12チームが参加した中で、2年生チームは総合優勝を1年生チームは総合3位と審査員特別賞を勝ち取りました。

優勝した2年生チームは来年3月つくば市で行われる全国大会に出場します。



↑2年生チーム  
→1年生チーム



### 武蔵野美術大学によるワークショップ

11月14日(金)

「高校生のための頭で見る・目で作る・手で考えるワークショップ」

デザイン思考を学ぶためのワークショップで、本校を会場に実施されました。このプログラムを通して、ただ眺めるのではなく頭で見ることを体験し、視点を変えることによって日常に潜んでいる新たな問題や課題を見つけることができました。



## ふくしまサイエンスフェスティバル 2025

11月29日(土)、「ふくしまサイエンスフェスティバル 2025」が、福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ(AOZ)で催されました。日東紡福島事業センター協賛のもと、福島高校とアオウゼが主催し、本校からは、SS部1年生の「11円電池」「浮沈子で魚釣り」「ホバークラフト製作」など7つの実験屋台に加えて、書道部、美術部、管弦楽部、野球部が参加しました。

また、福島市内の高校3校や4つの企業、福島大学といった多彩なブースがあり、大盛況となりました。子どもたちの笑顔とキラキラした瞳にサイエンスの楽しさをあらためて感じ、これから研究活動のエネルギーにもなりました。



## 学生科学賞受賞

11月23日(日) 読売新聞福島支局で学生科学賞福島県審査の表彰式が行われました。

県知事賞・中央予備審査入選3等

「福島盆地における蝶類群集の構造」

県議会議長賞「バクテリアセルロースを用いたストローの開発と評価」



## 宮城県仙台第三高等学校主催

### イノベーションフェスタ

11月6日(木) 生徒3名が参加しました。

研究発表を通して、自らの研究に対する理解を深めるとともに、他校の発表から大いに刺激を受ける1日となりました。



## ▶今後の主なSSH行事予定

12月15日(月)～21日(日) Thailand-Japan Students Science Fair 2025

12月20日(土)～25日(木) カンボジア海外研修(国際共同研究)